

## 2. 平成22年度 主な事業

平成22年度は、4つの重点戦略に基づき、以下の事業に取り組みます。

### 2.1 自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり【自立型経済】

#### ■実施する主な事業

##### ①完成・供用事業

###### 【直轄事業】

###### 道路

県内有数のリゾート地である国道58号恩納村における交通渋滞の緩和と沖縄自動車道へのアクセス向上を目的に整備を進めてきた『国道58号恩納バイパス』を2車線暫定供用します。

###### 公園

国営沖縄記念公園首里城地区において、『奥書院』の整備を完了します。

###### 道路 港湾

国58号の交通渋滞緩和並びに那覇港における効率的な物流体系の形成を目的とし、更には沖縄西海岸地域の振興に寄与するものとして整備を進めてきた『沖縄西海岸道路(那覇西道路)・(那覇港道路空港線(沈埋トンネル))』の供用を目指します。

##### ②継続事業

###### 【直轄事業】

- 那覇空港自動車道 豊見城東道路
- 国道58号 名護東道路
- 沖縄西海岸道路 読谷道路
- 沖縄西海岸道路 浦添北道路
- 沖縄西海岸道路 豊見城道路
- 沖縄西海岸道路 糸満道路
- 国道58号 嘉手納バイパス
- 国道329号 金武バイパス
- 国道329号 与那原バイパス
- 国道329号 南風原バイパス
- 国道331号 中山改良
- コザ交差点改良事業
- 嘉手納交差点改良事業
- 宇地泊地区電線共同溝事業
- 金武地区電線共同溝事業
- 那覇港泊ふ頭地区大型旅客船ターミナル整備事業(耐震)
- 那覇港臨港道路整備事業(浦添線)
- 石垣港新港地区大型旅客船ターミナル整備事業
- 那覇空港エプロン新設

【補助事業】

- 一般県道平良下地島空港線 伊良部架橋
- 那覇港浦添ふ頭地区国内物流ターミナル整備事業

■成果目標

指標	単位	H15 (実績)	H19 (実績)	H20 (実績)	H21 (見込み)	H24 (目標)
沖縄都市モノレール利用客数	人/日	31,905	37,713	37,545	35,145	42,000
沖縄の港湾への大型クルーズ船の寄港回数	回	70	61	97	97	100
都市公園の整備	m <sup>2</sup> /人	7.9	9.7	10.3	10.4	14.0

(注)指標の達成状況に関する注釈

指標	注釈
沖縄都市モノレール利用客数	H21年度は見込値
沖縄の港湾への大型クルーズ船の寄港回数	那覇港、平良港、石垣港等、沖縄県内港における寄港回数
都市公園の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園面積は、国・県営公園についてはH21年度末時点の供用面積、市長村営公園は実績値の推移からH21年度末時点を推定。</li> <li>・都市計画区域人口は、実績値の推移からH21年度末時点を推定。</li> </ul>

## 2.2 安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり【安全・安心】

### ■実施する主な事業

#### ①完成・供用事業

##### 【補助事業】

###### 海岸

名護市の運天港において、越波や飛沫等による背後の道路や隣接する住宅への被害を防止するために整備を促進してきた「運天港海岸高潮対策事業」の完成を目指します。

#### ②新規事業

##### 【直轄事業】

###### 港湾

八重山諸島の地域住民や来訪者が日常的に利用する船舶の航行の安全を確保するため、竹富南航路(開発保全航路)における指定範囲の追加及び航路の整備について、事業化に向けた検証調査を新規に行います。

#### ③継続事業

##### 【直轄事業】

- 沖縄東部河川総合開発事業 億首ダム
- 沖縄北西部河川総合開発事業 大保ダム
- コザ交差点改良事業【再掲】
- 嘉手納交差点改良事業【再掲】
- 与座地区歩道整備
- 国道58号座津武防災
- 法面等の防災対策
- 那覇港泊ふ頭地区大型旅客船ターミナル整備事業(耐震)【再掲】
- 那覇港湾合同庁舎 耐震対策等施設整備事業

##### 【補助事業】

- 安謝川広域河川改修事業

## ■成果目標

指標	単位	H15 (実績)	H19 (実績)	H20 (実績)	H21 (見込み)	H24 (目標)
多目的ダムによる 安定供給可能人口	万人	84	94	94	94	111
洪水氾濫防止のために整備され た河川の延長の割合	%	57	61	62	62	64
下水道による 都市浸水対策達成率	%	—	49	50	51	75
災害時における緊急物資輸送に 資する岸壁の整備達成度	%	20	27	27	33	40

(注) 指標の達成状況に関する注釈

指標	注釈
多目的ダムによる 安定供給可能人口	将来の水需要増加に対応するため、億首ダム本体工事を継続する ほか、大保ダムの早期共用開始を目指す。

## 2.3 沖縄特有の豊かな自然環境の保全・創造と安らぎのある地域づくり 【くらし・環境】

### ■実施する主な事業

#### ①完成・供用事業

##### 【直轄事業】

##### 道路

嘉手納地区電線共同溝

#### ②継続事業

##### 【直轄事業】

● 道路環境整備事業

##### 【補助事業】

● 儀間川総合開発事業

● 石垣港本港地区離島ターミナル整備事業

### ■成果目標

指標	単位	H15 (実績)	H19 (実績)	H20 (実績)	H21 (見込み)	H24 (目標)
下水道処理人口普及率	%	60	65	65	66	70
サンゴ礁と共生する 防波堤の整備延長	m	1,066	1,870	1950	1950	2,000
みなとにおけるにぎわい空間の 確保	ha	27	70	70	77	90
園路及び広場が設置された都市 公園のバリアフリー化率	%	—	39.9	38.8	39.2	40.3
離島における生活用水を 安定的に確保する	人分/日	約27,800	約28,800	約28,800	約28,800	約32,400

(注) 指標の達成状況に関する注釈

指標	注釈
サンゴ礁と共生する 防波堤の整備延長	那覇港および平良港における環境共生型防波堤を対象とし整備延長については完成型として算出
離島における生活用水を 安定的に確保する	離島の生活用水確保のため、儀間川総合開発事業【儀間・タイ原ダム(久米島)】が実施されているところ。